

館林城と中近世の遺跡

館林市史

発刊のご案内

発掘調査によって解明された館林城はどんな城だったのか。さらに、城館跡や石造物を通して、戦国時代から江戸時代に生き残った人びとの暮らしや信仰の歴史を紐解く！



●第7回配本
特別編第4巻
館林城と中近世の遺跡
B5判 500ページ (カラー400ページ)
3,000円

館林市史 刊行案内

刊行書名	内容
通史編	◇原始・古代・中世 ◇近世 ◇近代・現代
特別編	◆第1巻 館林とツツジ ※既刊 ◆第2巻 絵図と地図にみる館林 ※既刊 ◆第3巻 館林の自然と生きもの ※既刊 ◆第4巻 館林城と中近世の遺跡 ※今回配本 ◇民俗 ◇建造物 ◇芸術文化
資料編	◇1 原始古代 <館林の遺跡と古代史> ◆2 中世 <佐貫荘と戦国の館林> ※既刊 ◇3 近世Ⅰ <館林城と藩政> ◆4 近世Ⅱ <館林の城下町と村> ※既刊 ◇5 近現代Ⅰ <産業と暮らし> ◆6 近現代Ⅱ <鉱毒事件と戦争の記録> ※既刊

※テーマ名は変更あり

『館林市史』は、通史編3巻・特別編7巻・資料編6巻の全16巻を刊行する予定です。館林の自然、歴史、民俗などさまざまな分野から、特色ある文化遺産を紹介し、未来へ伝えていきます。



『館林市史』特別編第1～3巻、資料編

館林市史購入のご案内

お申し込み方法

販売窓口：下記でご購入できます。

場 所	取り扱い
館林市史編さんセンター(第二資料館) 館林市文化会館 館林市役所総合案内(1階) 田山花袋記念文学館 向井千秋記念子ども科学館	月～金曜日 休館日(月曜・祝日の翌日)を除く
館林市立図書館 館林市第一資料館	休館日(月曜・祝日の翌日・月末整理日)を除く
群馬県立館林美術館ミュージアムショップ	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く ※一部展示替による臨時休館日を除く
館林市内の書店 (ケヅカ書店・聞声堂書店・みくに書房)	

◆郵送の場合

遠隔地の方は郵便振替による購入ができます。
電話・FAX・Eメールで下記にお申し込みください。

〒374-0018 群馬県館林市城町2-3(館林市第二資料館内)

館林市史編さんセンター

TEL・FAX 0276-76-7651

E-mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp



『館林市史』特別編第1～3巻、資料編

戦国時代から江戸時代まで、約四百年の歴史をもつ館林城。城絵図の調査や発掘調査で得られた考古学的資料から、館林城の実像に迫ります。

さらに、市内各地に伝わる中近世の城館跡や遺跡、数多くの板碑や石造物から、この時代に生きた人びとの足跡と信仰のようすを現代によみがえらせます。

【第一部】館林城

◆戦国時代に築かれた館林城は、数々の戦乱をくりぬけたのち、榊原康政入城以降は、七家の大名の城として明治維新まで続きました。しかし近代以降、城の建物はほとんど失われ、わずかに残る土塁が城跡のおもかけをとどめています。発掘調査によって確認されたさまざまな遺構や遺物を、城絵図や文献資料と重ねあわせ、現在までの館林城の変遷の歴史を写真と図版で解説します。

第1章 館林城の沿革

近世館林城の変遷と城絵図
明治時代以降の城跡の変遷
城跡と城下町の遺構

第2章 館林城の遺構と遺物

発掘調査に見る館林城(本丸・二の丸・三の丸・土橋門)
館林城下の遺跡(城町土塁・加法師土塁・旧館林藩士住宅など)

第3章 藩主一族の墓

榊原康政の墓(善導寺)
祥室院殿の墓(善長寺)

【第二部】城館・遺跡・石造物

◆館林市内には、中世から伝わる城館跡や遺跡が約30か所確認され、その一部は発掘調査によって、中世・近世の遺構や遺物が発見されています。また、館林に関連する板碑や石造物など約250点を集成し、中世の信仰の実態や街道とのかかわりを写真と図版で解説します。

第1章 中近世の城館と遺跡

館林の城館
(大袋城・青柳城・北大島館・羽附陣屋など)
館林の中近世の遺跡
(栄町遺跡・天神遺跡・八方遺跡など)
邑楽郡内の城館と遺跡

第2章 館林と周辺の中近世の石造物

板碑(地藏画像板碑・館林の板碑)
さまざまな石造物(中世の石造物・街道と道標)



▲青石地藏板碑(愛宕神社)



▲榊原康政の墓(善導寺)



▲館林城出土遺物



▲館林城本丸石組遺構